

弘前大学医学部附属病院で診療を受けられた皆様へ

当院では下記の臨床研究に用いるため、患者さんの試料・情報を利用させていただいておりますので、お知らせいたします。

研究課題名 当院での帝王切開子宮癒痕症に対する癒痕部修復術の臨床的アウトカムと今後の課題

研究の目的

帝王切開子宮癒痕症は帝王切開術後に不正性器出血、月経困難症、不妊症などをきたす疾患です。帝王切開術による分娩の割合は年々増加しており、1990年から2020年の30年間で約2倍に増加している状況です。この帝王切開術の増加を背景として帝王切開子宮癒痕症という疾患が注目されるようになってきました。さらに2022年4月より帝王切開子宮癒痕症に対する腹腔鏡下子宮癒痕部修復術が保険収載されたこともあり、帝王切開子宮癒痕症と診断される患者さんの人数や癒痕部修復術の件数は増加すると考えられます。

本研究では、当院で帝王切開子宮癒痕症に対して手術を施行した症例を集積し、手術方法や症状の改善の有無、術後経過、妊娠の有無等について検討することを目的とします。

研究実施期間 実施許可日 ~ 2026年 3月 31日

対象となる方 2014年1月1日~2023年12月31日までの期間、附属病院産婦人科を受診し、帝王切開子宮癒痕症と診断され手術を施行された患者さん。

利用させていただきたい試料・情報について

当院の診療録に記録されている情報のうち、以下の情報を標記研究課題実施のために利用します。

- 1) 年齢、既往歴、妊娠分娩歴、合併症
- 2) 受診契機
- 3) 症状
- 4) 診察所見や検査データ
- 5) 手術に関する情報
- 6) 術後経過

これらの情報を元に、本疾患における臨床的特徴や手術方法、症状の改善の有無、手術後の妊娠の有無、術後経過、妊娠の経過などについて検討します。

なお、利用に当たっては氏名・住所・電話番号・患者番号等個人を特定できる情報を削除し、本研究のための固有の番号を付して行います（これを匿名化といいます）。

研究成果については、学会発表や論文投稿等の方法で公表されますが、その内容から対象者個人が特定される事はありません。研究から得られた個別の結果については原則としてお答えしませんが、希望される方は下記連絡先までご連絡ください。また、本研究課題について、より詳細な内容をお知りになりたい場合や、情報の利用に同意いただけない患者さん/その代理人の方は、以下の連絡先までご連絡ください。

研究への利用に同意いただけない場合、当該患者さんの情報については対象から除外します。ただし、連絡いただいた時点で既に研究成果公表済の場合は、該当者のデータのみを削除する等の対応は出来かねますので、ご了承願います。

本件連絡先	産科婦人科・赤石 麻美 連絡先 0172-39-5107/ kobayasi@hirosaki-u.ac.jp
-------	--